

National  
Parks  
of Japan



# 国立公園における 自然体験の推進について

2023年7月

環境省自然環境局  
国立公園課国立公園利用推進室



## ● 自然体験活動の推進

子どもパークレンジャー（JPR）  
子ども農山漁村交流プロジェクト（子プロ）  
自然大好きクラブ  
国立公園満喫プロジェクト  
エコツーリズムの推進 長距離自然歩道 等



## ● 自然とのふれあいに係る月間等

みどりの月間等において、都道府県や関連団体と連携して国民が自然に親しむ機会を提供。



## ● 国民の理解増進のための表彰制度

「みどりの日」自然環境保全功労者表彰（大臣）  
自然公園関係功労者表彰（大臣）  
自然歩道関係功労者表彰（局長）



## ● 国民の自然公園管理への参画促進

自然公園指導員（約2,070名）  
パークボランティア（約1,280名）

# 子どもパークレンジャー事業（自然公園等利用ふれあい推進事業）

- 小中学生を対象に、国立公園を中心に山や里、川、海などのフィールドにおいて、**国立公園で働く自然保護官（パークレンジャー）の仕事の体験や、野外活動等を通し、自然のすばらしさを体感する自然ふれあいプログラムを実施。**（JPR / Junior Park Ranger）



## 過去の実績

年度	地域数（実施回数）	公園数	参加者数
平成29年度（配賦実績）	13地域	12公園	—
平成30年度（配賦実績）	20地域	15公園	—
令和元年度	22箇所（41回）	15公園	722名
令和2年度	15箇所（22回）	11公園	420名
令和3年度	12箇所（13回）	8公園	260名

# 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業（子プロ）

- 国立公園を中心とした、子ども滞在型農山漁村体験教育の推進体制及び受入体制の強化を図るために、**国立公園エリアにある受入側となる農山漁村地域における推進体制づくりを支援。**
- 受入地域の協議会や住民、民間事業者と協力した**人材育成、自然体験プログラムの開発・強化・充実への取り組みを支援。**



## 期待される効果

- 自然環境や国立公園への**理解や訪問意識の高まり**、利用者の増加
- 子ども自然体験活動の受入に伴う**交流人口の増加、地域活性化**
- **子どもの生きる力、豊かな人間性の形成**



## 過去の実績

年度	地域数	公園数	参加者数
平成29年度（配賦実績）	4地域	4公園	—
平成30年度（配賦実績）	3地域	3公園	—
令和元年度	6地域	5公園	31名
令和2年度	8地域	7公園	173名
令和3年度	6地域	4公園	264名

# 自然大好きクラブ

- ホームページ「自然大好きクラブ」で、全国の自然ふれあい施設（ビジターセンター、自然観察の森など）、自然体験イベント情報、長距離自然歩道、自然に親しむためのプログラムなどの情報を紹介しています。



**NATS 自然大好きクラブ**

自然大好きクラブは自然を愛する人のためのネットワークです。

自然大好きクラブとは？ 自然とふれあう施設へ行こう！ 長距離自然歩道を歩こう！ やってみよう！調べよう！

環境省 > 自然環境・生物多様性 > 自然大好きクラブ > 自然とふれあう施設へ行こう！

### 自然とふれあう施設へ行こう！

全国の自然とふれあう施設をまとめました！  
自然がもっと身近になる楽しいプログラムや、自然情報を提供している施設が満載。  
あなたの住まいの近くにお気に入りの「自然ふれあい施設」を見つけましょう！

**探そう！  
全国の自然体験**

五感を使って自然にふれる体験にみんなで出掛けてみませんか？  
探そう！全国の自然体験では、子どもを中心に教育的な視点を持って 自然体験活動を実施している団体・組織を紹介しています。  
一部では、団体の受け入れを行っています。

# 「国立公園に、行ってみよう！」の特集ページ



## ■ 自然豊かな国立公園で期待できる健康効果をご紹介します



驚くべき森林浴の効果

温泉の効果・効能

ストレスの緩和

子供の成長にもたらす影響

### 知ってる？

## 自然体験は子供の成長にも良い！

幼少期の体験活動が多いほどに自尊感情が高くなる傾向にある

自然体験の機会	12歳(小学6年生)の頃の自尊感情の得点
少ない	約 45
多い	約 65

17歳(高校2年生)の時の自尊感情の得点

自然活動が多い子供のほうが、少ない児童よりも自己肯定感が**21.2%高い**

自然活動が多い子供ほど自尊感情や外向性にいい影響が見られる

自然体験(キャンプ・登山・川遊び・ウィンタースポーツなど)を12歳頃までに多く体験することで17歳の時の自尊感情が高くなるというデータがあります。小学生の頃に行った体験活動などの経験は、長期間経過しても、その後の成長に良い影響を与えていることが分かりました。

出典: 文科省 体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト(2020年)

#### 自然体験と自己肯定感

自然体験	自己肯定感(高い)	自己肯定感(低い)
多い	57.1	25.2
少ない	47.0	29.0
少ない	35.9	31.1

#### 自然体験(子供の頃)と人間関係能力(大人)の関係

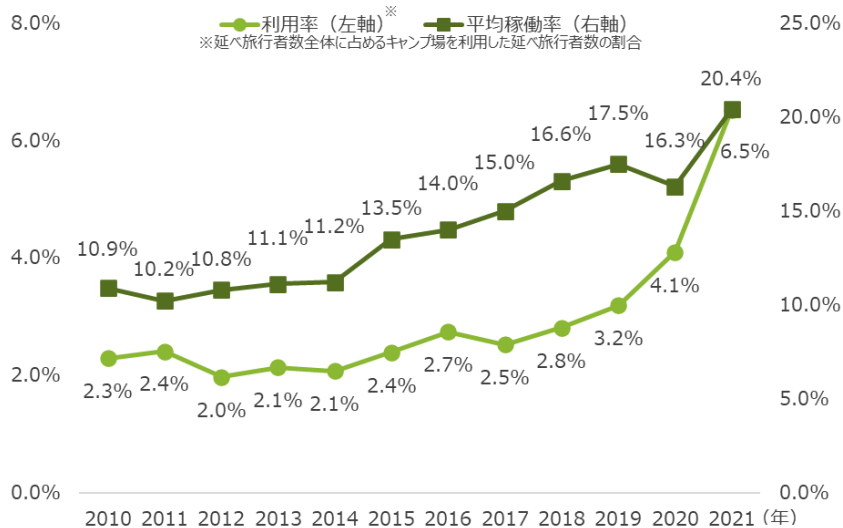
自然体験	人間関係能力(高い)	人間関係能力(低い)
多い	47.8	36.3
少ない	34.4	39.8
少ない	22.8	40.0

出典: 環境省 国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査」(2016年)

# コロナ禍/後の「旅」の変化

- キャンプ場利用率は2012年から上昇。キャンプ場の稼働率も上昇。

キャンプ場利用率およびキャンプ場稼働率



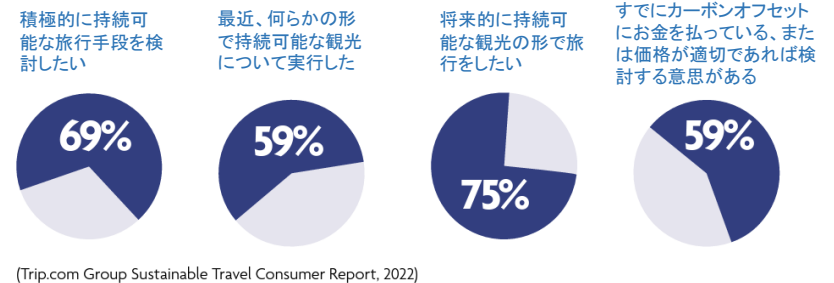
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」および日本オートキャンプ協会「オートキャンプ白書2022」により作成

- 持続可能な旅行に努めたいと考える旅行者は全体の71%で前年2021年から10%増加。

サステナブルツーリズムに対する意識 (Booking.com調査)



サステナブルツーリズムに対する意識 (Trip.com調査)



出典：National Park ServiceデータよりJTBF作成

- 旅行における環境貢献の意識が高まっており、**持続可能な観光（サステナブルツーリズム）、責任ある観光（レスポンスブルツーリズム）、再生型観光（リジェネラティブツーリズム）**等への意識が拡大。
- 2022年9月には世界ツーリズム協会（WTTC）が**ネイチャーポジティブツーリズム（自然再興に資する観光）**に関するレポートを発表。
- 旅にTransformation（自己の内面の変化）を求める傾向も強まる。**



# 国立公園は 最高の自然体験フィールド

- 魅力的な自然体験アクティビティ
- 登山道、キャンプ場、展望台、駐車場、トイレ、ビジターセンター、解説板、標識などの整備
- インタープリター（ガイド）も活動

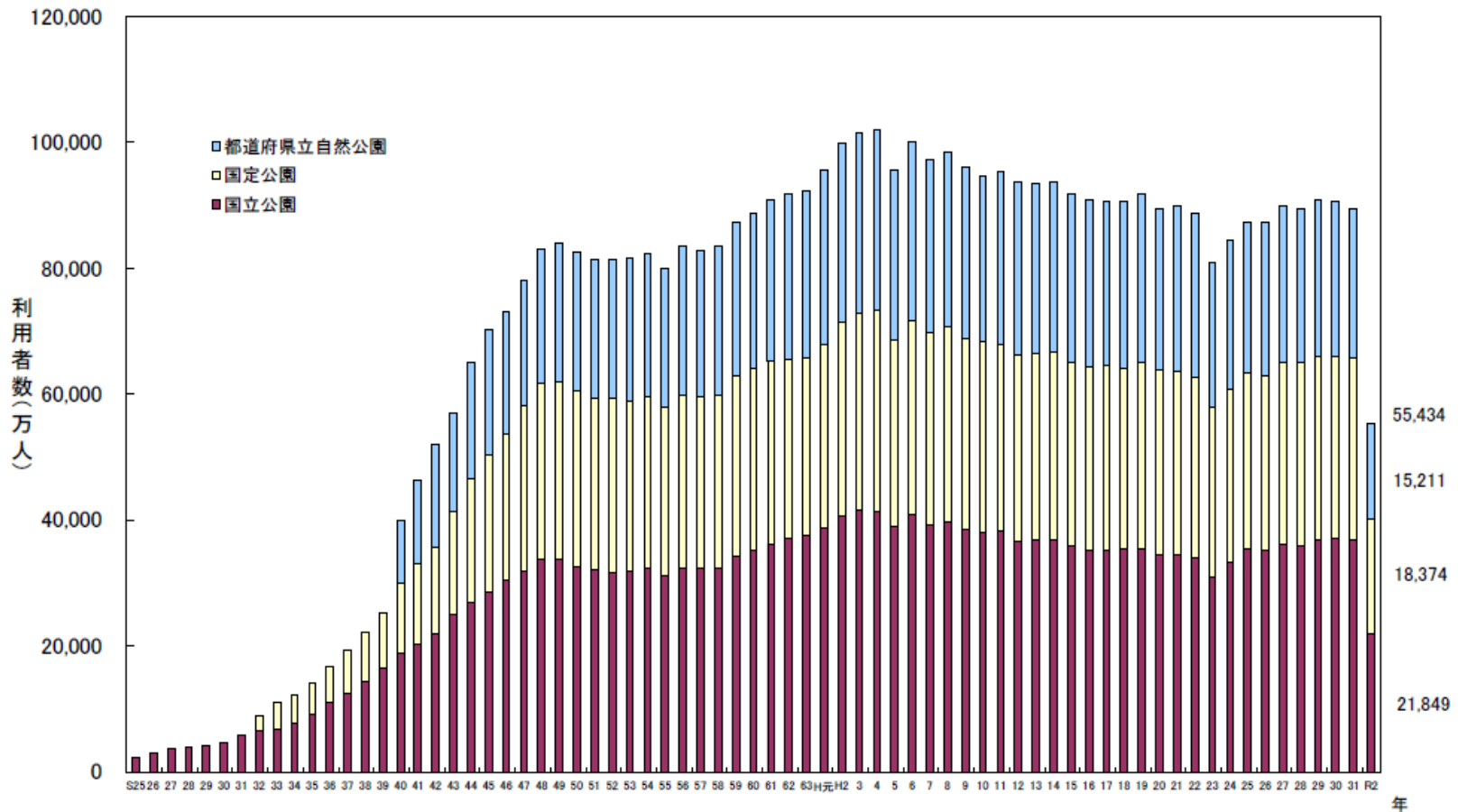




# 自然公園の利用

自然公園（国立公園・国定公園・都道府県立自然公園）の利用者数は年間のべ8～10億人で推移。国土面積の約14.8%を占める。

国立公園・国定公園・都道府県立自然公園年間利用者数



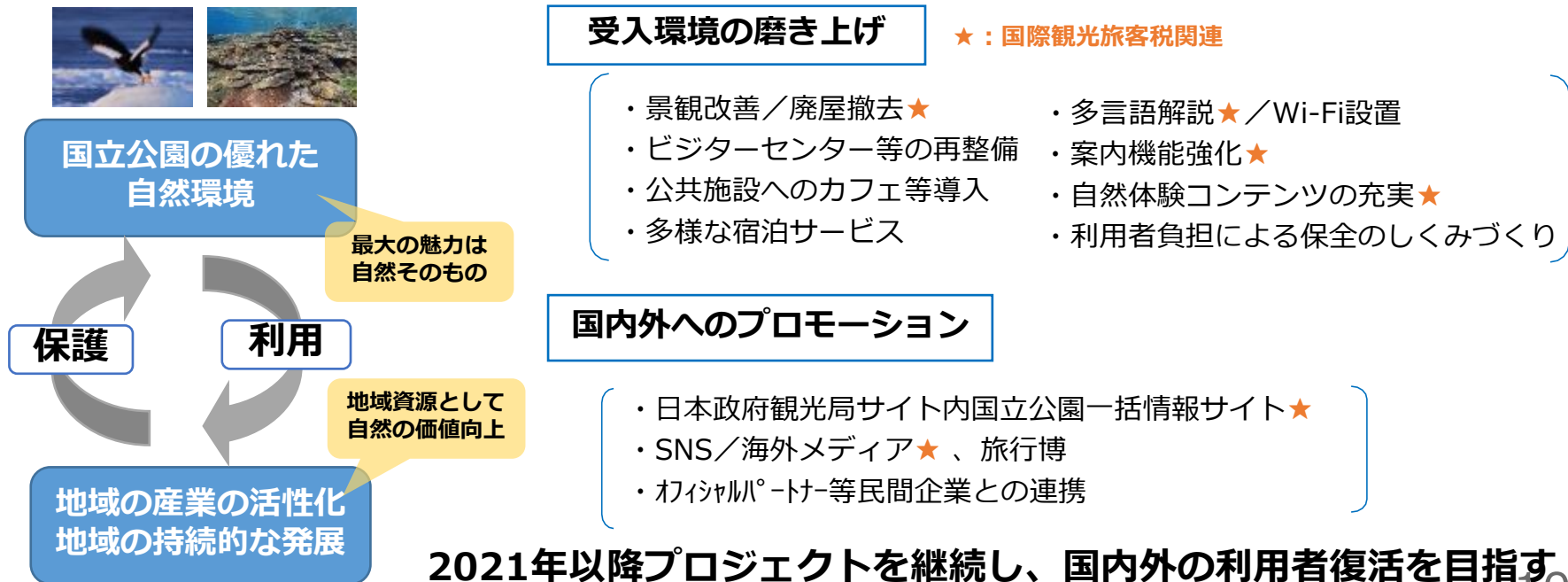
注) 国定公園は昭和32年より、都道府県立自然公園は昭和40年より利用統計を開始した。

# 国立公園満喫プロジェクト

「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる  
 2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始  
 【訪日外国人の国立公園利用者数】 490万人（2015年） →667万人（2019年）

## 国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 2016日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。
- ◆ 利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。



**2021年以降プロジェクトを継続し、国内外の利用者復活を目指す**  
 (国内誘客の強化、ワーケーション等の新たな利用推進、34公園への展開、脱炭素化など)

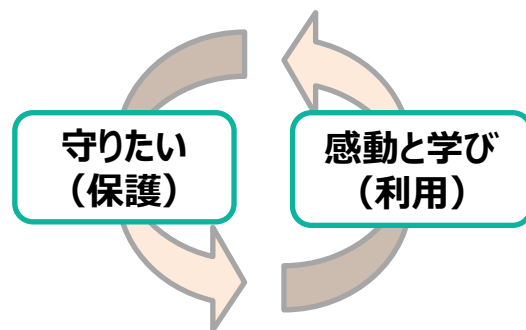
# 自然公園法の目的、「教化」の問い直し

## ○自然公園法の目的

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって**国民の保健、休養及び教化に資する**とともに、生物の多様性の確保に寄与する。

ここでいう「**教化**」とは、すぐれた**自然の事物、風景から受ける教育感化**をいうのである。必ずしも博物館、水族館、動物園等の人為的な施設によるもの、あるいは、風景地に存する個々の動物、植物、地形、地質等によるものだけに限らず、大自然の景観に接して**偉大な教訓を受け**、あるいは、**日常体験し得ない感銘を受け**、これによって**心身ともに爽快の気が横溢すること等**をも指すものである。

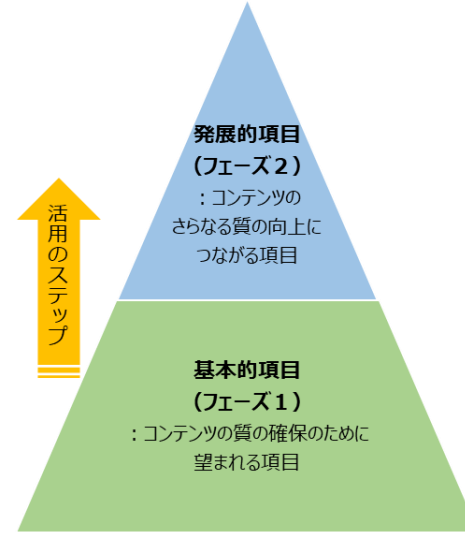
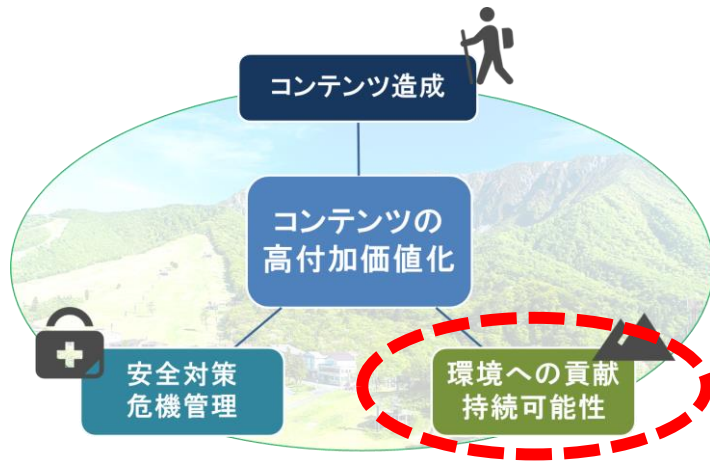
『自然公園法の解説』



保護と利用の好循環

（ 利用者の満足度↑  
地域の価値↑  
自然環境の保全↑ ）

# 国立公園における自然体験コンテンツガイドライン



各項目に含まれる要素	
コンテンツ造成	コンセプト
	マーケティング
	プログラム
	ガイド人材
	外国人対応
安全対策 危機管理	感染症対策
	事故・災害等緊急時への備え・対応
	危機管理計画・地域内連携
環境への貢献 持続可能性	環境保護・保全の取り組み
	地域との関わり
	国際認証・多様性

## 基本的項目 (フェーズ1)

国立公園のコンテンツとして望まれる基本的項目を、コンテンツ造成（コンセプト、マーケティング、プログラム、ガイド人材、外国人対応）、安全対策・危機管理（感染症対策、事故・災害等緊急時への備え・対応、危機管理計画・地域内連携）、環境への貢献・持続可能性（環境保護・保全の取組、地域との関わり、国際認証・多様性）の観点より整理しています。

☞ フェーズ1は個別事業者の取組により、コンテンツの質の確保につながる項目です。

## 発展的項目 (フェーズ2)

基本的項目(フェーズ1)を満たした上で、地域ぐるみで国立公園におけるコンテンツのさらなる質の向上を目指すために、付加価値づけに向けた要素（ストーリー性・専門的なガイドング等）やインバウンド誘客を視野に入れた取り組み、主体的な安全対策・危機管理等への取り組み（危機管理計画の作成・地域内における催行判断基準の主体的な設定等）、地域住民をはじめとした地域関係者との連携・地域経済への貢献等、より一層の環境への貢献・持続可能性について、地域を鑑みながらの個別取組と地域関係者との連携にて進めていくべき取組を整理しています。

☞ フェーズ2は個々の事業者による地域志向の取り組みや、事業者が主体となり地域関係者と一緒に取り組むことにより、選ばれる地域となるようコンテンツのさらなる質の向上を目指す項目です。



三重県, 伊勢志摩国立公園

## 「Clean up the Beach with Ama」海女と一緒に海をきれいにしよう！

海女文化を世界へ！「Clean up the Beach with Ama」海女と一緒に海をきれいにしよう！（海女小屋はちまんかまど）

マリンアクティビティ

学び (SDGs・自然環境・エコ)

ワーケーション SDGs 自然環境

エコ 海 伝統・文化 春

夏 秋 冬



大分県, 阿蘇くじゅう国立公園

## 立中山ボランティアツアーリズム (保全活動体験)

多くの登山者が訪れるくじゅう連山。今回は山荘泊しながら、訪れる方楽しんでいただけるように登山道の整備をしてみませんか

トレッキング ※運動強度 中～高

ハイキング ※運動強度 低 温泉

SDGs 自然環境 エコ

野生動物 川 森林 里山

旅館 キャンプ ホテル

ファミリーで 友人と 一人で



東京都, 秩父多摩甲斐国立公園

## 森の演出家と楽しく学ぶ自然環境教室 ～未来の地球を自然の恵みでつくろう～

森の演出家・土屋一昭さんと森を歩きながら身近な自然に触れて未来の地球を考えよう！環境省グッドライフアワード受賞の自然環境教室

野生動物観察

学び (SDGs・自然環境・エコ)

SDGs 自然環境 野生動物

植物 川 森林 春 夏

秋



山梨県, 秩父多摩甲斐国立公園

## 狩猟学校 鹿の解体講座

「解体講座」猟師になりたい、知りたい人に向けたプログラム。狩猟について学び、鹿の解体や調理方法、衛生管理を学びます。

狩猟未経験の方も、狩猟初心者の方も楽しみ頂けます。

野生動物観察 文化・工芸体験

学び (SDGs・自然環境・エコ)

SDGs 自然環境 野生動物

森林 里山 伝統・文化 食

春 夏 秋 冬



岡山県, 大山隠岐国立公園

## 美しい草原を守る活動 & 秋の茅刈り体験会

“自然を守る”GREENable (グリーンナブル) アクティビティ

文化・工芸体験

学び (SDGs・自然環境・エコ)

SDGs 自然環境 エコ 植物

里山 伝統・文化 食 秋



東京都, 秩父多摩甲斐国立公園

## 楽しく学ぶ川ゴミ問題 多摩川 リバークリーンラフティング

東京都の水源・多摩川上流「御岳渓谷」で、異常気象による災害ゴミやBBQの放置ゴミを拾いながらラフティングを楽しむサステナブルなアクティビティです。

リバーアクティビティ

学び (SDGs・自然環境・エコ)

SDGs 自然環境 海 川

春 夏 秋 冬

国・都道府県が保護管理を担う国立公園・国定公園において、**地方自治体や関係事業者等の地域の主体的な取組を促す仕組み**を新たに設け、保護のみならず**利用面での施策を強化し、「保護と利用の好循環」**（自然を保護しつつ活用することで地域の資源としての価値を向上）を実現するものです。

## 1. 地域主体の自然体験アクティビティ促進の法定化・手続の簡素化

- 公園計画において、従来の利用施設のハード整備に加え、新たに自然体験アクティビティの促進を位置づけ、市町村やガイド事業者等から成る協議会を設け、**自然体験活動促進計画**を作成。環境大臣・都道府県知事の認定を受けた場合には、計画に記載された**事業の実施に必要な許可を不要とする**。
- これにより、計画に基づく**魅力的な自然体験アクティビティの開発・提供、ルール化等**の関係者が一体となった取組を促し、**旅行者の多様なニーズに応え、長期滞在につながる国立公園等の楽しみ方**を提供。

## 2. 地域主体の利用拠点整備の法定化・手続の簡素化

- 公園利用の拠点となる旅館街等の街並みを整備するため、市町村や旅館事業者等から成る協議会を設け、**利用拠点整備改善計画**を作成。環境大臣・都道府県知事の認定を受けた場合には、計画に記載された**事業の実施に必要な許認可を不要等とする**。
- これにより、計画に基づく**廃屋の撤去、機能充実、景観デザインの統一**など、関係者が一体となった**自然と調和した街並みづくり**を促し、**国立公園等における魅力的な滞在環境を整備**。

## 3. 国立公園等の保全管理の充実

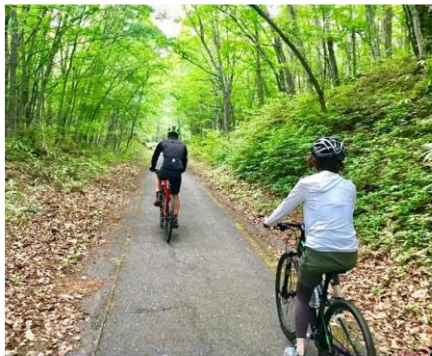
- 国立公園等の国内外へのプロモーションの促進、クマ・サルなど野生動物の餌付け規制による人身被害等の予防、公園事業の譲渡による公園事業者の地位の承継に関する規定の整備、公園管理団体の業務の見直しによる指定の促進、特別地域等における行為規制の違反に係る罰則の引上げ等の措置を講じる。

## ● ゼロカーボンパーク (脱炭素、循環型の取組)

電気自動車の駐車場無料化、脱炭素二次交通システムの構築を見越したE-bikeサービス等の導入、マイボトルの活用推進などを率先的に実施。小水力発電や温泉熱利用も推進。

## ● 自然との共生

人と自然が共生する日本の国立公園で、自然に対する感謝と畏怖、自然の恵みを引き出す知恵と技術を学ぶ。





# インタープリテーション

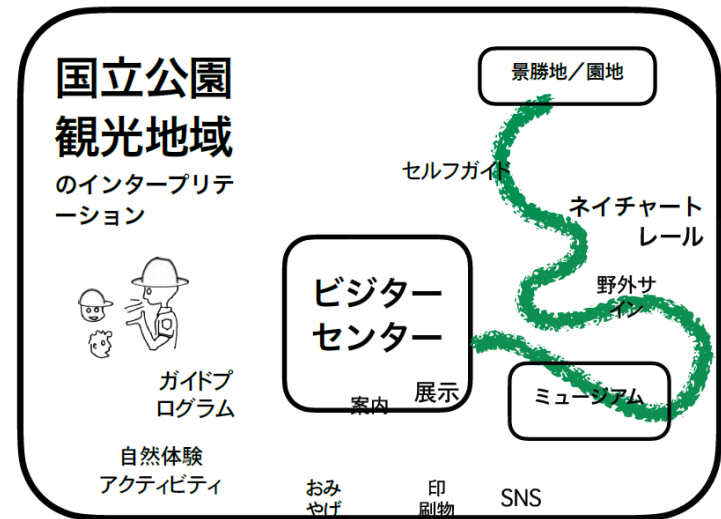
事実や情報を伝えるというよりは、直接体験や教材を活用して、**事物や事象の背後にある意味や相互の関係性を解き明かすことを目的とする教育的な活動**（チルデン,1957）

来訪者それぞれが、**資源に内在する意味や価値との間に、知的、感情的なつながりをつくる機会を創出するための触媒**（アメリカ国立公園局）

## 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業



年度	参加地域数
平成29年度	2 3
平成30年度	1 2
令和元年度	1 4
令和2年度	2 0
令和3年度	1 4
令和4年度	1 4



図：一般社団法人日本インタープリテーション協会作成

# 国立公園におけるワーケーションの推進

## 【中部山岳国立公園】

子供連れファミリーに対応した「親子ワーケーション」を実施。保育士兼教員免許のある保育事業（自然保育「木のこ」）と提携した自然保育サービスを提供。（温泉の宿 ゲストハウス雷鳥）



↑ 仕事の間、保育を依頼

両親は、リフレッシュのため、ガイド付き涸沢トレッキングも組合せ可 →



## 【日光国立公園】

従来型旅館の一般的な和室の客室から、**ワーキングデスクとベッドを設けた客室へと改装**する事でワーケーション受入環境を整備。（株式会社七重八重）



# ワーケーションの環境整備の取組・成果の事例



国立公園内のホテルにてWiFi環境や備品等の整備を行い、アクティビティと連携したワーケーションを展開（鶴雅リゾート）



【阿寒摩周】



キャンプ場でのワーケーションキャンプの展開と、キャンプ参加者向けのアクティビティとしてSUP体験、サイクリングツアー、子ども向けアクティビティ等の開発（休暇村協会、スペースキー）



【磐梯朝日】



ワーケーション施設に改装。アクティビティの一環として、外来種駆除作業。仕事×休暇×地域貢献のCSRワーケーションSTAYを開発（戸隠キャンプ場）



【妙高戸隠連山】



木造校舎を活用したワーケーションと、e-bikeを活用した国立公園内のサイクルツーリズムの造成（秋津野ガルテン）



【吉野熊野】

# 国立公園オフィシャルパートナー（129社）



国立公園の魅力の世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることを目的に、環境省と企業とがパートナーシップを締結するプログラム



国立公園  
オフィシャルパートナー

 IHG・ANA・ホテルズグループジャパン	 阿寒DMO	 アノビュー!	 株式会社アマネ	 株式会社スペースキー	 住友林業株式会社	 株式会社組合サービス	 株式会社イノアビ	 全日本空輸株式会社	 一般社団法人地域未来企業	 株式会社Challenge Outdoor	 BOJ株式会社	 全日本高速鉄道株式会社	 全日本旅客鉄道株式会社	 株式会社肥後銀行	
 アルビコ交通株式会社	 株式会社石井スポーツ	 特定非営利活動法人西村健光協会	 株式会社AirX	 株式会社イノアビ	 全日本空輸株式会社	 一般社団法人地域未来企業	 株式会社Challenge Outdoor	 中国国際空港株式会社	 株式会社T.A.S.	 東海旅客鉄道株式会社	 東急株式会社	 一般社団法人 VISITIA ちのへ	 Vpon JAPAN株式会社	 株式会社プリンセス	 フレックス株式会社
 ANA X株式会社	 株式会社ABCフロンティア	 Expert Japan	 S-GHホールディングス株式会社	 東京カヌー倶楽部	 全日本国際空港サービス株式会社	 全日本国際空港サービス株式会社	 東急株式会社	 大分県観光協会	 株式会社大分銀行	 株式会社OKU JAPAN	 有限会社飛騨小笠	 株式会社オールアバウト	 小田急電鉄株式会社	 株式会社鹿児島銀行	 川口湖上興業株式会社
 川崎重工業株式会社	 Camping with Soul Japan株式会社	 一般社団法人 休暇村協会	 株式会社九州ファンシビリグループ	 成田国際空港株式会社	 西日本高速鉄道株式会社	 西日本旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	 株式会社オールアバウト	 小田急電鉄株式会社	 株式会社鹿児島銀行	 川口湖上興業株式会社	 九州旅客鉄道株式会社	 近畿鉄道株式会社	 株式会社ぐるなび	 KNT-CTホールディングス株式会社
 株式会社ゴールドウィン	 株式会社山陽合同銀行	 サントリーホールディングス株式会社	 三陸鉄道株式会社	 四国旅客鉄道株式会社	 有限会社ニハメディア・シヤパン	 公益社団法人日本A/AI協会	 日本観光自動車連合会	 九州旅客鉄道株式会社	 九州旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	 中国国際空港株式会社	 西日本高速鉄道株式会社	 西日本旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	
 シダックス株式会社	 スターバックスコーヒー ジャパン株式会社	 株式会社スノーピーク	 三陸鉄道株式会社	 四国旅客鉄道株式会社	 有限会社ニハメディア・シヤパン	 公益社団法人日本A/AI協会	 日本観光自動車連合会	 九州旅客鉄道株式会社	 九州旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	 中国国際空港株式会社	 西日本高速鉄道株式会社	 西日本旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	
 シダックス株式会社	 スターバックスコーヒー ジャパン株式会社	 株式会社スノーピーク	 三陸鉄道株式会社	 四国旅客鉄道株式会社	 有限会社ニハメディア・シヤパン	 公益社団法人日本A/AI協会	 日本観光自動車連合会	 九州旅客鉄道株式会社	 九州旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	 中国国際空港株式会社	 西日本高速鉄道株式会社	 西日本旅客鉄道株式会社	 日産自動車株式会社	

# エコツーリズム推進法に基づく全体構想策定地域

## 4つの基本理念（法第3条）

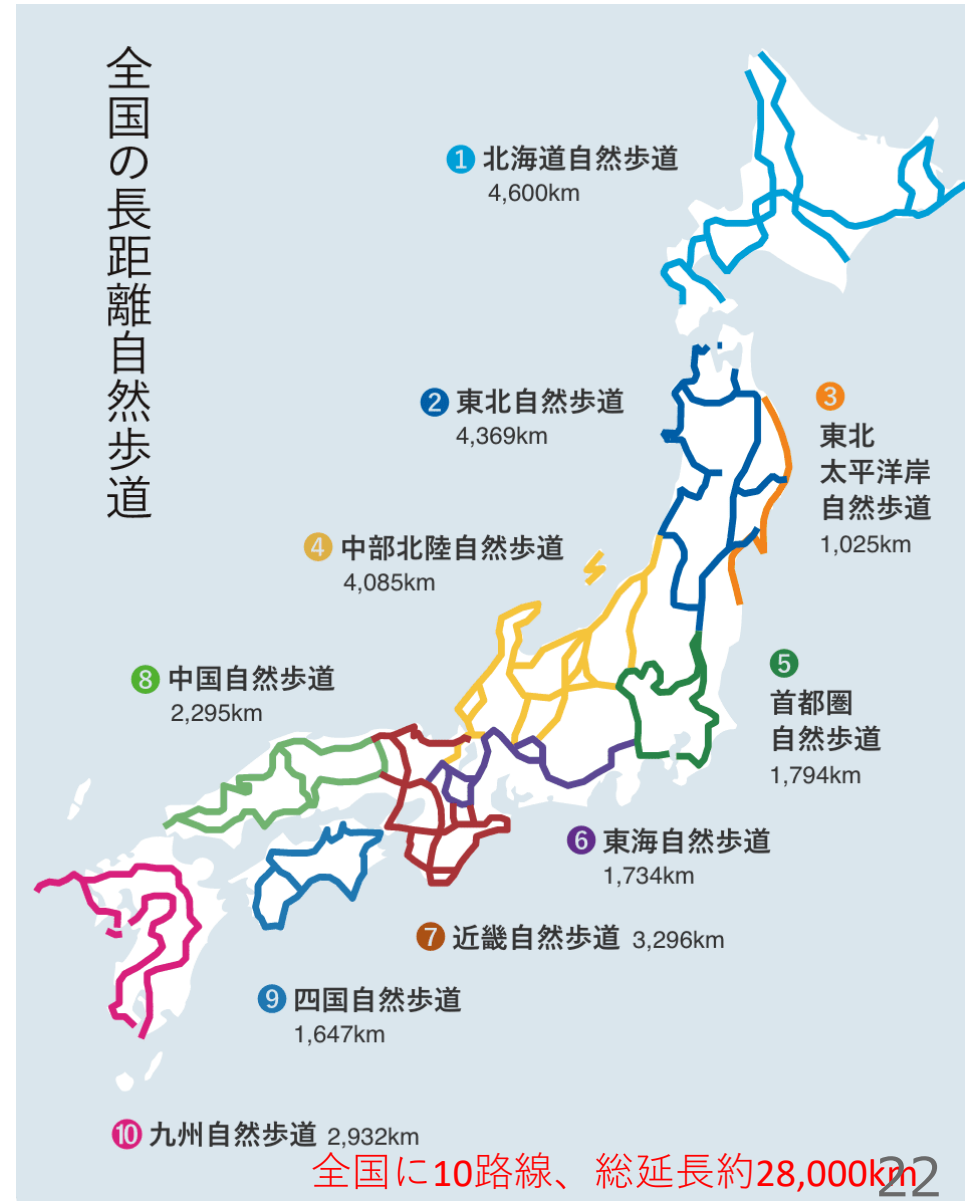
- ・自然環境の保全
- ・観光振興
- ・地域振興
- ・環境教育の場としての活用



2009（平成21）年以降、全国で23地域が認定を受けている。（2023年7月現在）

# 長距離自然歩道

- 1969年1月、厚生省国立公園部は、東京から大阪までを国民が自らの足で歩いて行くことができる「東海自然歩道」の構想を発表。
- この構想の背景には、**高度経済成長期の国土の急激な都市化、モータリゼーションの進行等に起因する社会的課題があった。**（「人間の回復」「歩くことの復権」）
- そのような背景のもとで、東京（高尾山）と大阪（箕面）を歩道でつなぎ、また、当該歩道を軸線として利用性の高い国定公園を帯状に配置することにより、**都市のスプロール化に対する自然保護の防波堤の機能を目指す**とした。
- 1971年環境庁が発足し、東海自然歩道の事業は自然保護局に引き継がれ1974年（昭和49年）7月に完成した。
- その後、九州自然歩道（1980年完成）、中国自然歩道（1982年完成）と続き合計9本の長距離自然歩道が完成し（北海道自然歩道は一部計画中）、10本目の長距離自然歩道として、2019年に東北太平洋岸自然歩道（通称：みちのく潮風トレイル）が完成した。



『ロングトレイルの維持管理・運営システム構築の考え方』

<https://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/nationalpark/longtrail.html>

## 「長く歩く旅」の意義と効果

### 国民にとっての長く歩く旅の意義と効果

- 1) 個々人にとってのチャレンジ、目標達成の機会となる
- 2) 心身と向き合うことができる
- 3) 非日常に浸る機会となり、日常について顧みることができる
- 4) 行程全てが目的となり「歩く旅」こそその楽しみが得られる

### 社会にとって長く歩く旅の意義と効果

- 1) 国土や環境の現状を知る機会となる
- 2) 持続可能性を考える機会となる
- 3) 交流・滞在時間が長くなる

# みちのく潮風トレイル

・2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災からの復興に資するため環境省が策定した三陸復興国立公園の創設を核とした「グリーン復興プロジェクト」の取組の一つ。



## みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

- ・ 環境省をはじめ、4県29市町村に及ぶ関係自治体、民間団体、地域住民の協働により、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの沿岸地域で段階的に開通が重ねられ、2019（令和元）年6月9日、全長**1,000キロ**を超えるナショナルトレイルとして全線開通。
- ・ 東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海、川、里、森と連続する美しい景観とともに、自然と共にある人々の暮らし、積み重ねられた歴史・文化があり、厳しくも豊かな自然の恵みと重なり合いながらいまに繋がっている。歩く中で生まれる人と人との温かな交流も大きな魅力。

### ・みちのく潮風トレイル憲章

1. 美しい風景と風土を楽しむ道とします。
2. 地域に暮らす人々とこの地を訪れる人々の間にこころの交流が生まれる道とします。
3. 自然の優しさと厳しさを胸に刻む道とします。
4. 震災をいつまでも語り継ぐための記憶の道とします。
5. 豊かな自然・文化を次世代へ受継ぐ道とします。
6. 歩くことを愛するすべての人々を歓迎し、皆で育てる道とします。

